

資一警察 1
警察本部
内線5353

## 警察救助部隊の高度化事業

【予算額 1,578千円】

### 1 事業目的

滋賀県には、琵琶湖を取り囲むような形で多数の断層帯が存在し、中でも琵琶湖西岸断層帯と南海トラフは、近い将来、激震をともなう地震を発生させる可能性が指摘されています。

また、昨年9月には、台風18号の大豪雨による甚大な被害が現実には発生しており、県民の安全と安心を守るためには、大規模災害への備えを確保する必要があります。

被災者の救出・救助活動に従事する部隊員の資格取得・技能講習を充実化するとともに、より実践的な訓練を行い、第一線現場における救出・救助能力の向上を図るものです。

### 2 事業内容

大規模災害等が発生した際、滋賀県警察特別救助隊をはじめとした警備部隊は、直ちに目の前の負傷者の救出救助や避難誘導などの災害警備活動に従事しなければなりません。

これら部隊の救出救助能力の向上を図るため、災害警備活動に必要な小型クレーンやフォークリフトなど重機の運転や危険物取扱などの資格を取得し、加えて、凄惨な現場における実践的な技術と能力の向上を図るため、建物倒壊現場や土砂災害現場を想定した訓練を行い、警察救助部隊のさらなる高度化を図ろうとするものです。

# 滋賀県警察施設の整備計画

## 警察署等庁舎の耐震補強工事

資一警察2

警察本部  
内線5353

### 警察署の新築整備計画(平成26年度)

○ 耐震性に問題がある上、老朽・狭隘化の著しい警察署

➔ **新築整備**

(近江八幡警察署)



昭和46年建築

(甲賀警察署)

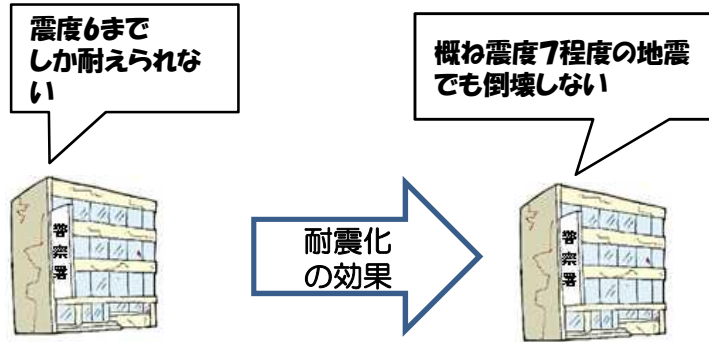


昭和44年建築

県下に所在する12警察署のうち、昭和56年以前の旧耐震基準により建てられ、耐震補強整備が未了で耐震性に問題ありと判定された施設は7警察署あります。

これらの7警察署については、平成24年度を初年度として2警察署の建替、3ヶ年計画による4警察署の耐震補強工事によって確実な耐震化整備を推進し、残る1警察署についても建替整備の検討を進めており、耐震化率100%を実現して、治安維持と地域防災の基盤の強化を図ろうとするものです。

### 警察署の耐震化計画



### 平成26年度は東近江警察署を耐震化

時期	耐震化率	耐震化警察署
平成24年度末	41.7%	(未実施7箇所)
平成25年度末	66.7%	木之本、高島、大津北
平成26年度末	75.0%	東近江
平成27年度末	83.3%	近江八幡
平成29年度末	91.7%	甲賀
平成32年度(予定)	100%	草津

※近江八幡・甲賀・草津の3署については新築整備

## 滋賀県警察施設の整備計画

### 交番・駐在所の新築整備

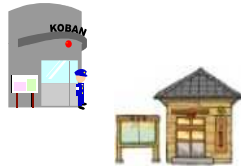
資一警察3

警察本部  
内線5353

#### 交番・駐在所の現状と整備計画

- 耐震性に問題がある交番・駐在所 **35箇所** ～防災拠点機能安全・センターの整備、充実～

#### → 新築整備



平成25年度 …… 7箇所整備済み

平成26年度

平成27年度

平成28年度

平成29年度

### 28箇所

交 番 8箇所  
駐 在 所 20箇所

- 震災に強く有事即応体制が確保できる施設へ
- 住民の様々な要望・相談に応えられる施設へ
- 地域防犯・ボランティア活動の拠点・支援となる施設へ

県下162箇所に所在する交番・駐在所は、地域住民の安全と安心を確保するため「地域防災の最前線基地」としての機能を有しておりますが、それらのうち、旧耐震基準により建築され、大地震などの発生時には倒壊や崩壊の危険性がある施設が35箇所もあります。

大規模災害などの発生時において、あらゆる警察活動の停止が危惧されるため、これら35箇所の施設の新築建替整備を進め、警察活動の基盤強化を図ろうとするものです。

資一警察 4
警察本部
内線5353

## 通学時における児童・生徒の交通安全対策事業

【予算額 1,564千円】

### 1 事業目的

通学路の安全対策を推進するためには、地域や学校などからの意見・要望を確実に汲み上げ、将来にわたって持続できる通学路対策を講じる必要があります。

そのため、県内の小学校区に各1人「おうみ通学路交通アドバイザー」を配置し、通学路対策の先導役として、地域の実態に応じたきめ細かな活動を推進し、通学児童の安全と安心を確保するものです。

### 2 事業内容

「おうみ通学路交通アドバイザー」は、通学路の安全、子どもの見守り活動等に関して、警察・学校・PTAとの連絡会に参加し、学校関係者や道路管理者、保護者との横つなぎ役として、関係機関との連絡調整を行います。

加えて、定期的な通学路点検や通学路における保護・誘導活動を推進し、他のボランティアへの指導を行うなどして、通学児童の交通安全に取り組みます。